

【中小企業振興円卓会議】平成30年度専門部会 事業計画書

活動名	変えようや松山! 働き方改革先進都市へ		
部会名			
部会長・副部会長名	部会長 堀田真奈		
代表団体名	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ		
構成メンバー	松山商工会議所、他今後検討		
活動テーマ	ええ会社づくり		
活動項目	「条例の推進活動」		
活動詳細	現状・課題	深刻な少子高齢化と労働力不足社会に突入しています。これまでのやり方を振り返り、中小企業こそ組織のマネジメントを変革しないといけないという危機感を持たなければ人の採用・定着、ひいては地域の経済活性化は厳しい状況です。まつやまイクボス合同宣言を実施したものの、「働き方改革しよう、と言うだけで、何も変わってない」「責任権限がないのに、会社からやれ、と言われてただ足踏みをしている」など、立ち止まっている企業も多くあります。また、「大企業はできるが中小企業は厳しい」という声がありますが、職種、規模問わず、どこも同じで厳しい状況です。	
	活動内容	<p>【条例の推進活動】 イクボス宣言企業を中心とした市内の中小企業に、イクボス宣言後のその後の事例「うまくいっていない・模索している」という具体的な課題を解決していくための勉強会を実施します。 成功事例ではなく、苦労しているプロセスを共有することで、働き改革に必要な要素を知り、ジブントとしてよりよい会社にしていきかけとなり、会社のより一層の成長に貢献することを目指します。</p> <p><実施内容> 働き方改革道場～連続講座実施～ ①働き方改革勉強会 なぜ必要なかを知り、行動変化を促す講座（基礎編） ②働き方改革勉強会 「制度を見直す（就業規則や社内ルール）」 ③働き方改革勉強会 「業務を見直す（整理整頓、会議やミーティング等情報共有の仕方等）」 ④働き方改革勉強会 「風土を見直す（管理職、コミュニケーション、無意識の偏見の有無等）」 ⑤働き方改革交流会 「企業の事例プレゼンテーション」</p> <p>★⑤に向かうことを進めるため、コーディネーターが勉強会に参加した企業に出向き、メンタリング等を行い、担当者のモチベーションに寄り添う。</p>	
	事業期間	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日	
	事業費	1,916,400円	
活動効果 (想定される調査・検証結果等)	企業が、苦労事例を聞き共有することにより、企業規模や業種を「言い訳」にせず、行動にうつすきっかけとなる。ひいては、働き方改革を具体的に実行する企業が増える。		